

まち運営会議(第 139 回)議事録(概要)

令和 5 年 9 月 28 日 18:30 ~ 20:00

自由が丘エヌケービル 3F 会議室

議長 卯月盛夫

1. 街並み景観賞・貢献賞表彰式(1 時間)

2. 懇親会(30 分)

資料

1. 表彰式次第

2. 表彰式に関連して:ジェイ・スピリットの主な活動の歩みの一部

3. 街並み景観賞・貢献賞リスト

●議長 本日の第 139 回の自由が丘のまち運営会議では、街並み景観賞・貢献賞表彰式を行います。

●代表 授賞される皆さん、おめでとうございます。街並み形成委員会の 10 年余りの活動で約 300 件の中から良い取組を表彰して、まちの人たちに知ってもらい、まちづくりに良い影響を与えたいと願っています。

●林 選考会事務局を担う街並み形成委員が現地調査をしたり資料を精査して、選考会のために 17 点をノミネートした。選考会で景観賞 8 点と貢献賞 1 点を選んだ。(資料の街並み景観賞・貢献賞リスト参照。ノミネートした 17 物件をパワポで紹介。景観賞の順番は街並み形成委員会への届出年順。以下は概略)

景観賞

- 1) 駅や踏切にいる人への華やかな商品が見える開かれた建物の設計
- 2) 九品仏川緑道沿いで、敷地の前景や隣の緑の高木等を活かした建物と庭の配置を工夫
- 3) 交通量の多い道に沿った木造の構え、夜景も印象的で地下のある 3 階建て店舗の設計
- 4) 賃貸の共同住宅。住宅地の中のコンクリート造りで窓や外構の緑を工夫
- 5) 大きな共同住宅。広い屋敷のあった緑の継承。自然生態系に配慮してモニタリング調査の継続
- 6) 街角のテラスのある店舗。木を多用し楽しい雰囲気スペースを創出
- 7) 戸建て住宅。開放的な前庭と駐車スペースの配置を工夫
- 8) 奥にある商業・ビジネス空間への緑の充実したエントランスづくり
- 9) 貢献賞(街並み形成委員会に届出がなかった) 歩行空間を広げて緑のある環境の整備

その他のノミネート物件

- 1) 宅地分割した 2 軒。協調した生け垣づくり
- 2) 宅地分割した 2 軒。協調した前庭づくり。シャッターで閉鎖的にならない車庫の工夫
- 3) 長屋とその奥に戸建て住居のある引き込み路に沿った変化のある植栽
- 4) 角地の 3 階建て住宅。壁面のデザインと緑化の工夫
- 5) 地下階にビジター利用可能な防音室のある 3 階の共同住宅。外構に種々の植栽を配置。
- 6) 車の往来の多い道路に面した店舗。1 階にテラスの導入と緑化、地下階店舗へのアクセスの工夫
- 7) 改築後に元からある日本的看板をバランスよく利用
- 8) 駅前広場に面した銀行。改築により看板の抑制と建物前に憩いスペースをつくり、まちにも開放。

以上、まちで今後に活かしたい事例を紹介した。公共空間への貢献、緑などの整備と維持管理をしているなどの基準でも評価した。(このパワポを pdf にして議事録概要とともにまち運営会議の HP に掲載します。)

選考委員のコメント

●代表 授賞されたみなさんには、民地の中で建物自体はもとより周辺の環境に配慮した良い取組をしてもらって感謝したい。当事者以外にも知ってもらい、まちづくりに活かしたいと思い、初めて表彰することになった。街並み形成委員会の活動は、区の協力もいただきながら、これからも続けていきたい。

●議長 景観賞の表彰を自治体でなく、まちづくり会社がすることは画期的である。こういうまちにしたいと投げかければ、まちの人の参加・協力が得られる。建物は大事だが、街並みは 1 つの建物ではできない。周辺環境との関係が重要である。周辺に影響を与えたいという思いが込められているかを私は選考基準の 1 つにした。自由さも必要で、まちのある方向性を持った秩序と多様性のある街並みにしたい。

受賞者のあいさつ(当日 2 件は欠席、後日対面で表彰した。)

●この景観賞は、まちに対していかに良い影響をあたえるかという観点で選んだということであれしい。建物は駅や電車に乗っている人にも楽しんでもらう、華やかさをまちに与えられればよいという思いで設計した。

●木造建物の多い住宅地にコンクリート打ち放しの、やや大きいボリュームで、どのように周囲に溶け込むかを意識した。大きい壁面を細分し、周りに緑を植栽して、同じ木を並べない変化をもたせ、ナチュラルガーデンになることを目指した。

●緑の多い有名なお屋敷の跡地ということで、近隣には大きな葛藤を与えたが、まちからの賞をいただいて感慨深い。等々力溪谷など生態系の豊かな地点を結ぶ中継点になるように植栽を計画した。築後 1 年、3 年のモニタリング調査を実施する。1 年後の調査は過日終了したが、指標のチョウや鳥が戻ってきている。

●自由が丘で材木屋を代々やっていて、今回の建物に木材のイメージを活かしたいと思った。木材が周りに違和感を与えないか心配したが、評価してもらってうれしい。人が楽しく滞留できる所になるように工夫した。

●一般住宅で猫の額のような庭しかないが、草花や木がバランスよく育つようにメンテナンスしていきたい。

●昨年リニューアルした。買物客よりも多くの人に通ってもらおうと考えた。誰もが心地よく、多様な緑を感じられるエントランスになるよう工夫した。

●今年度から女子生徒が入学することになり、和やかに通ってもらえるよう整備した。大きなクスノキをシンボルにして、古いサクラも多くあったが一部を切って植え直した。10 年後、20 年後には地元の人もくつろげる場所になればと思う。届出をしなかったのに賞をいただいてうれしい。

閉式のことは

●地区整備課長 授賞されたそれぞれの作品が自由が丘にとって魅力あるものになると実感した。良いものがまちに広がることによってまちのイメージを変える力になると思う。目黒区は自由が丘の新たな魅力の創出に向けて 3 つのことに取り組んでいる。①建物の更新に向けた市街地再開発事業 ②安全・安心に通行できる道路づくりに向けた都市計画道路の拡張事業 ③開かずの踏切の解消に向けた道路と鉄道の立体化である。まちの大きな変化が見込まれる自由が丘において、今回授賞された建物等の点と点がつながり、ワンパッケージになって自由が丘の魅力を引き出すことができれば良いと実感した。■